



令和5年度

横浜市立生麦小学校

学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 小倉 孝行
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



12月(師走)号

子どもの心を育てるために

今年もあとひと月となりました。子どもたちは寒さのなかでも校庭でドッジボールをしたり、図書室で穏やかに本を読んだりしています。12月2日(土)は今年最後の授業参観となります。ぜひ、お子さんの学校での様子をご覧ください。

先週金曜日に、今年度2回目の「たてわりふれあいタイム」がありました。1つの班に1年生から6年生が数人ずつ集まり、6年生が中心となってレクリエーションをしました。これまで6年生は、どうしたら1年生から5年生が楽しく一緒に活動できるかを考えてくれました。ある班では空のペットボトルをピンに見立て、柔らかいボールを使ってボーリングをしていました。始めに6年生が「みんな集合。今日はね、みんなでボーリングをします。まずはじゃんけんをして、投げる順番を決めるよ。」と言いました。2年生の児童が両手でボールを投げ、ピンが1本倒れたときです。6年生が「やった！すごい、すごい。倒れたよ。」と大きな声で喜んでいました。ふれあいタイムが終わり6年生に感想を聞くと「みんな楽しんでくれてうれしかった。でもね1年生の子がピンを倒せられなかったんだ。次の交流のときは内容を考え直すよ。」と話していました。そして、ピンを1本倒した2年生は「先生、私ね、1本倒したんだよ。すごいでしょ。1年生の子も、あとちょっとで倒せたんだけどな。今度、投げ方を教えてあげようかな。」と言っていました。どの学年の子どもたちも、心の育ちを感じます。卒業式前には「6年生ありがとう集会」が行われます。今度は、6年生ではなく、5年生が中心となり1年生から4年生をまとめ、これまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えます。どのように気持ちを伝えるのか、とても楽しみです。



校庭で「たるまさんころんだ」をしている1~6年生の班

12月4日(月)から10日(日)は「人権週間」です。報道であるように差別や暴力、虐待、人権侵害など、様々な人権問題が依然として存在しています。人権を守るとは「自分を含め、人を大切にすること」です。そして、差別をするつもりはなくても、差別をしてしまうかもしれない自分があるかもしれない気が付くことが大切です。これは子どもに限ったことではありません。私も同じです。教職員も人権についてさらに学び、子どもたちが「差別」について真剣に考え、人権感覚を磨き、人権意識を高められるような授業を進めていきます。

心は、知識や技能を教えるように教えられるものではないでしょう。「教える」というよりも「育てる」という接し方が大事なように思います。授業を見ていると、教師の投げかけに、子どもたちは身に付けた知識も使い、のびのびと自分の考えを話したり、書いていたりしています。そして、プラスのこともマイナスのことも一緒に伝え合っているうちに、みんなが納得のいく考えを見つけ出しています。ご家庭でも、地域でも、学校でも心を育てようとする周囲の大人たちのかかわりのなかで、子どもの心はゆっくりと豊かに育っていくように感じます。この人権週間、ご家庭で人権について話し合う時間を作ってみてはいかがでしょうか。4月に入学・進級してからの、お子さんの成長を感じられるでしょうし、何より保護者の皆様がお子さんとの時間を共にすることで、子どもは安心感や充実感を得られるでしょう。今年もあと少しです。12月もどうぞよろしくお願いたします。

○ 5年生が旧東海道まつりでソーラン節を披露しました

11月23日(木)、都合のついた5年生が旧東海道まつりに参加し、ソーラン節を披露しました。地域の皆様から、大きな声援と拍手をいただき、子どもたちは踊り切ることができました。ありがとうございました。

○ 難民の方に1100着、段ボール10箱の子ども服が集まりました

「『届けよう、服のチカラ』プロジェクト」(着なくなった子ども服を難民など服を必要とする方に届ける取組)にご協力いただきありがとうございました。総計1100着、段ボール10箱もの服が集まりました。保護者、地域の皆様、どうもありがとうございました。